真声会大阪

発 行:京都市立芸術大学音楽学部同窓会 真声会大阪支部

事務局: 〒545-0004 大阪市阿倍野区文の里4-12-25 樋口博行 方

Tel/Fax 06-6624-3425

郵便振替口座 00960-4-47824 真声会大阪支部

http://senri-music.com/shinseikai-osaka/

復活!

第1弾として、2017年10月15日(日)

門真市民文化会館ルミエールホール2階レセプションホールで

開催されました。

報告と出演者の感想は次ページに。

プロムナード・コンサート

プロムナード・コンサート

2017年10月15日(日)14時開演

門真市民文化会館 ルミエールホール 2階 レセプションホール

入場料:一般1,000円/高校生以下500円



---- 出演者と曲目 ----

新 竜馬(クラリネット.61期)

山本 愛沙子(ホルン,61期)

矢野 百華(ピアノ,62期)

C.ライネッケ: クラリネット、ホルンとピアノのための三重奏曲 op.274

増渕 弥生(メゾソプラノ,院18期)

河合 珠江(ピアノ,51期)

J.ハイドン:

- ・マーメイドソング
- ・精霊の歌
- とてもありふれた話

W.A.モーツァルト:

・コンサートアリア K505 どうしてあなたを忘れられよう~恐れないで愛しい人よ

若井 亜妃子(ピアノ.53期)

C.ドビュッシー: 「映像」第1集

M.ラヴェル:「鏡」より第4番 道化師の朝の歌

松田 美紀(クラリネット,27期)

小崎 恵理子(ヴィオラ.30期)

紺谷 晶子(ピアノ,27期)

C.ライネッケ: クラリネット、ヴィオラとピアノのための三重奏曲 op.264

アンコール 出演者全員による演奏

武満 徹: 小さな空

総会のお知らせ

次の通り、大阪支部2018年度総会を開きますので、ご参加ください。

とき: 2018年6月17日(日) 13時30分~15時30分

*総会議事: 1年のまとめ、世話役・役員の選出、

新年度活動について など

ところ: **フレンチレストラン「フルーヴ**」

*親睦会:昼食を共にして、親睦を深めます。

(ホテルグランヴィア大阪19階)

Tel. 06-6347-1437

同封のはがきで 6月3日(日)までにご返信をお願いいたします。

お問い合わせ:090-8232-0780(大冨)

お願い 世話役推薦について

会 費: 2,500円(当日受付)

18・19年度真声会大阪支部世話役をご推薦ください。自薦・他薦を問いません。 *返信はがきは**5月25日**までにお願いいたします。

コンサートを終えて

『プロムナード・コンサート』に寄せて

中林 節子 (12期声)

真声会大阪支部発足当時から始まったプロムナード・コンサートも途中立ち消えたかに思えましたが、今一度という声に押され、交野・枚方の柴田、中林が手を挙げました。京阪沿線門真ルミエールホールでと定め、日程、出演者・・・ピアノ4人、声楽、クラリネット2本、ホルン、ヴィオラ・・・なんと贅沢なメンバー!と順調に進めていくことができました。かなりタイトなスケジュールでしたが、出演者のご協力で大きな問題もなくスムーズに運びました。・・・が、今更ながら

大胆な行動だったなあ と冷や汗ものでもあり ました。本番の楽屋は、 和気あいあいとしてお り、客席は熱気に包ま れ、手前味噌ですが、 とても良いコンサート になったと、自画自賛し

ております。アンコールは、贅沢なメンバー 全員で、武満 徹「小さな空」を演奏。ささ やかながらお茶で打ち上げも~。今回より

> 大阪支部からの援助も頂き、運営した。 場と助かりました。 お世話でいました。 お世がいるんに、受付・さんに、受付・さんに、受付・ジャーをお引きでき、キビキビと

した動きが頼もしく、世代交代も…必要と 痛感!

お世話をさせていただき感じたことは、 出演者の方々にお会いした時から親近感 に包まれ、お互いを認め合える空気感が 漂っていたこと!たまらないひと時でした。 同窓会の成せる技でしょうか…。今後も支 部プロムナード・コンサートのため出演者と して、また世話役側としても益々活躍して いただきたいものと強く願っております。



このプロムナード・コンサートに出演させて頂けることになり、念願の楽曲に取り組む事が出来ました。

クラリネット、ホ ルン、ピアノという

編成は珍しくなかなか演奏する機会もございません。貴重な体験となり大変楽しめました。

新 竜馬(61期、クラリネット)

『自分が今歌いたい歌を、歌いたいプログラムで』という事が、とても幸せな時間でした!

卒業してからはやはり、コンサートの趣旨、お客様のご



年齢、ご希望、会場、時間制限…など、様々な制約がある事も多く、それを考える喜びもありますが、なかなか『自分がこれを歌いたい』だけではプログラムを組む事が難しくなっていた私にとって、自由に25分間の時間を与えていただけたのは、とても贅沢な事でした。ありがとうございました!

增渕 弥生(院18期、声楽)

客席との距離が近く、お客様の 反応をより感じることができまし た。今回の演奏会では、様々な楽 器が登場しましたので、私自身も、 同じ会場で楽器によってどのよう に響きが違うのか、勉強になる貴 重な経験となりました。ありがと

うございました。



若井 亜妃子(53期、ピアノ)

「老舗」と言われたトリオ

昨年、秋にプロムナード・コンサートの企画があると伺い、トリオで出演させて頂く事にしました。いつもそうなのですが、私達のグループ以外は、若く優秀で楽歴の華やかな方々ばかり。あわや恥を忍んでの本番か…と思いましたが、多くの方に「三人の絡みが良かった」「老舗の味わいがあった」「さすが年の功」などと予期せぬお褒めの言葉を頂きました。背伸びや無理をせずに、自分達らしく音楽に向かった姿勢を評価して頂いた事を忘れず、さらなる「老舗」となるべく音楽人生を重ねて行こう、そう三人で



誓いました。ありが とうございました。 小﨑 恵理子 (30期、ヴィオラ)

京都市立芸術大学卒業生による

海辺のプロムナード・コンサート

~気楽に気ままにクラシック~

2018年**5月27日(日)** 14:00開演 塩屋 旧グッゲンハイム邸

入場料 1,000円 (二足制: 備付スリッパあり)

問い合わせ:090-4038-1973 (信多)

090-4647-5614 (松村)

主催/京都市立芸術大学音楽学部真声会大阪支部

~ ヴァイオリンのあの名曲を ~

桑原 謡子(ヴァイオリン.34期)

武田 佳美(ピアノ,34期)

ベートーヴェン ヴァイオリン・ソナタ第5番へ長調「春」 op.24より 第1楽章アレグロ

モンティ チャールダーシュ

~ クラリネットで奏でるクラシック&ジャズ ~

福井 聡(クラリネット,37期)

福井 真裕子(ピアノ.34期)

バッシ クラリネットとピアノのためのリゴレット幻想曲 ブレイク メモリーズ・オブ・ユー シュライナー インマークライナー

~ オペラアリアの魅力をたっぷりと~

やまだ ちひろ(ソプラノ,57期)

高橋 純(バリトン.52期)

西岡 仁美(ピアノ.51期)

ドニゼッティ 歌劇《ドン・パスクワーレ》より「騎士はその眼差しに」 レオンカヴァッロ 歌劇《道化師》より プロローグ「よろしいかな?」 レハール 歌劇《メリー・ウィドウ》より「とざした唇に」 ほか 山と海に囲まれた神戸らしい景観の塩屋で催します。 明治42年(1909年)築の異人館である 旧グッゲンバイム邸。

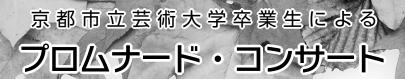
海を一望できる開放的なバルコニーのあるサロンで、 演奏者の表情や息づかいを身近に感じる演奏は、 コンサートホールとはまた違う場の共有を 体感できることでしょう。

プログラムも地元の方々に気軽に来て頂けるような 親しみやすい曲も入れて、出演者と共に楽しんでいただき、 京都芸大を知っていただける機会となるよう 盛り上げていきます。

まわりの方々をお誘いの上、是非お出掛けください。







ー アフタヌーン コンサ

~ 北 摂 ク 秋 風 便 り ~

2018年9月8日(土)14:00開演 逸翁美術館 マグノリアホール (阪急 [池田 下車)

入場料 1,500円

問い合わせ 06-6877-2667/s-y-kawamura@sutv.zaq.ne.jp(河村)

主催/京都市立芸術大学音楽学部真声会大阪支部

【第1部】

中村 太紀(ピアノ,57期)

バッハ=ブゾー二:トッカータとフーガ ニ短調 BWV565

河村 さと子(ソプラノ.16期)

坂 茉莉江(ヴァイオリン,相愛大学卒)

中村 太紀(ピアノ,57期)

ヘンデル: 涙の流れるままに カッチーニ: アヴェ・マリア メンデルスゾーン:歌の翼に

ドヴォルザーク:母の教えたまいし歌

ガスダルトン:禁じられた音楽

坂 茉莉江(ヴァイオリン.相愛大学卒)

中村 太紀(ピアノ,57期)

ドビュッシー: 亜麻色の髪の乙女 バルトーク:ルーマニア民族舞曲

廣田 雅亮(バス.61期)

黒澤 あみ(ピアノ.63期)

シューベルト: 月に寄せて

ワーグナー:オペラ《タンホイザー》より「夕星の歌」 チャイコフスキー:ドン・ファンのセレナーデ

ラフマニノフ:オペラ《アレコ》より「すべての天幕は寝静まった」

【第2部】

森山 靖子(ピアノ,56期)

ドビュッシー: 前奏曲集より(抜粋)

榎 水枝(ソプラノ.25期)

森山 靖子(ピアノ.56期)

ブラームス:

- ・日曜日
- ・ナイチンゲールに

シューベルト:

- 雌
- ただ憧れを知る者だけが
- 夜と夢
- 糸を紡ぐグレートヒェン

榎 水枝(ソプラノ.25期)

河村 さと子(ソプラノ.16期)

中村 太紀(ピアノ.57期)

成田為三: 浜辺の歌 山田耕筰:からたちの花 越谷達之助:初恋

※曲目は変更となる場合がございます。予め御了承ください。



ヨーロッパの

「味」力

北端 祥人

(56期pf)

ドイツの首都、ベルリンに渡って5回目の 春を迎えようとしている。

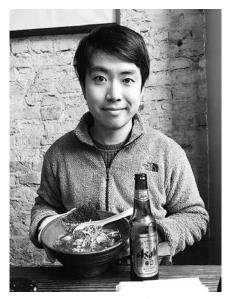
伝統と革新が入り混じるこの都市を拠 点にすることが出来て、本当に良かったと 思う。ヨーロッパ各国へのアクセスも良く、 時には自分のコンサートのために、ある時 には目的も決めず、この4年半の間に様々 な土地を訪ねることが出来た。

その土地特有の「食」に触れることは、 五感に訴えるものがあり、思い出と切り離 すことはできない。僕のモットーは「旅の思 い出は、ほぼ食の思い出 | なのだが、僕に とってはそれほど重心を置いている案件な のだ。

ヨーロッパに渡って、初めてソロリサイタ ルを開いたのはフランス中央部に位置す るオーリヤックという街だ。記念すべきステ ージであるにも関わらず、僕は舞台衣装を 全てベルリンの自宅に忘れ、明らかに動揺 していた。そんな僕を見かねてか、リサイタ ルの主催者であるご夫婦は、いつも暖か い家庭料理を振舞ってくれた。それに加え、 彼らは市場でとびきり新鮮なオイスターを 大量に買って来てくれたのだが、その味は 今でも忘れられない。口の中に無限に広が る海のミルクは、確実に僕の血と肉になり、 リサイタルを成功裏に終えることができた。 オイスターの絶妙な塩分と、人の優しさが 身に沁みた。

食べることは大事だが、学ぶことも同じ くらい大切だ。マスタークラスを受講する ためにポルトガルを訪れたのは今年の2月 ごろだったのだが、ドイツのどんよりとした 冬空と違い、どこまでも広がるような爽や かな青空と乾いた空気が印象的だった。 ベルリンは内陸にあるため質の良い魚介 類があまり無いのだが、この国は「魚好 き」がDNAに刷り込まれている日本人か らすれば天国のようだ。名物のアローシュ・ デ・マリスコ(シーフードリゾット)はロブスタ ー・イカ・海老・アサリなどの具から旨みが スープに溶け出して、お米と共に頂くのだ が、集中して味わうと、それぞれの魚介の 旨味が一まるでバッハのポリフォニーの様 に-複雑に絡み合いつつも調和を成して いる。連日のレッスンとコンサートの疲れが 吹き飛ぶような驚きだった。

舌の記憶と共に思い出を辿りながら、氷 点下のベルリンで稚筆乱文をしたためて いる次第だが、ここドイツほど春を待ち侘 びている国があるだろうか。厳しい寒さか ら一転して花開くように春が来るのだから、 喜びもひとしおだ。4月中旬ごろから市場に シュパーゲル(白アスパラ)が並び、ドイツ 人の婦人方は「待っていました!」と言わん ばかりにキロ単位で買っていく。僕も我が 家のキッチンでその見慣れない野菜と対



ベルリンではラーメンも食べられます

峙するのだが、食べ方は至って簡単で、厚 めの皮を剥いてボイルし、バターをベース にしたソースと共にいただくだけ。甘さの 奥にあるほろ苦さを噛み締めながら、今年 も季節が巡って来たのだとしみじみする。 倹約大国・ドイツは一度使ったものを無駄 にしない。ボイルした後のお湯を使ってリゾ ットを作り、またしみじみする。ベートーヴェ ンやブラームスが、シンプルなテーマから 素晴らしい変奏曲を書き上げるのも、なん となく頷ける。

忘れてはならないのは、僕の食い意地 を皆様に晒すことではなく、この文章があ くまで留学報告記であることだ。そしてピ アニスト・音楽家として生涯を全うする意 思があるのなら、食べることばかりに現を 抜かすのではなく健康に留意することを、 自戒としてここに留めておく。

2018年3月17日 ベルリンにて

アフター・アワーズ・セッション

右近恭子(25期pf)、日比浩一(29期vn)、 日野俊介 (29期vc)、松原央樹 (29期cl)、ほか

2017年11月2日(木)にフェニックスホールで開催した演奏 会に対して2017年度の「音楽クリティッククラブ賞・奨励賞」 を受賞されました。



1期生 大村 益雄 鈴木 安子 井上 惇子

2期生 小林 芳子

3期牛 谷口登美子 中澤 眞代 安宅千世子 間狩 華子 山田 降子 吉田 實 蔵田 裕行

4期生 三村 光子 吉田 洵子 当麻 宗宏

5期生 園田たまよ 佐田 佐和 惠子 竹内 畑 祥子 大村 禮子

6期生 小山

鈴木 和子 金森 重裕 森田 怜子 赤井 玲子

7期生 檜垣 信昌 木谷 和子

8期生 大和 重夫 小村 賢治 髙野紀久子

9期牛 南村 京子

10期生 大西多惠子 中島 慈子

11期生 山口美千代

12期生 中林 節子 織田 洋子

13期生 向井 勇夫

14期生 竹原 明 田淵 幸三

15期生 松本真理子

16期生 巌水 陽子 三宅 マチ 池田美也子 三井ツヤ子 河村さと子

17期生 妹尾 輝枝 真基 飯田 佐藤 敏子

18期生 安川 温子 石田由利子 柴田千恵子 森池日佐子

20期生 水山 悦子 辻 浩二

21期生 新名 星子 辻 嘉世子 室井 道子 堀 裕子 山下 良枝 平野 暁子

22期生 大塚麻由美 福本 雄幸 板垣 亨 金丸 文子

23期生 名畑ゆかり 兵頭 弘子 寺田 純子

24期生 大塚 晃一 齊藤 マヤ 福本 秀子 橘 茂

25期生 右近 恭子 森川由美子 雪原 典子 木村 直子 上塚 幸代 渡部 敏恵 木村 政雄

大阪支部会員名簿

2003~17年度に支部に入会もしくは何らかの入会意思表示のあ った方々です(途中退会者は除く)。あなたの周りの同窓生に支部 入会をおすすめ下さい。 (2018.3.31現在)

26期生 32期生 場野 公子 信多 仁子 坂本 恵子 瓜谷未佳子 長谷川洋子 古谷 泉 三森 尚子 飯星 広子 豊嶋奈由美 大嶋 義実 植村早智子

大嶋亜紀子

紺谷

桶口

北野由加里

28期生

一ノ瀬夏美

玉井 幸子

石毛 明生

大冨栄里子

木嶋 宏子

久保 典子

河田いづみ

29期生

大畑 博貴

大岡真紀子

蜂谷 葉子

掘井 佳世

松原 央樹

井上 雅浩

30期生

佐々由佳里

船所幾世子

古川 知子

小﨑恵理子

31期生

村上 栄子

南方 圭世

松村 佳奈

宮北 昌子

弘美

典子

澄子

瑛

康

西浦

杉江

川﨑

坂田

康

俊介

浩一

日野

日比

泉

佐藤

上塚 憲一 武田 佳美 佐々木和佳 27期牛 福井真裕子 岩崎 宇紀 桑原 謡子 大澤 佳奈 上木 裕子 栗木 充代 晶子 博行 大原 佳美 大江 浩志

34期牛

35期生 片野 涼子 智子 野尻 平林 知子 中井美内子 小西 潤子

36期生 西岡 里奈 荒木 美佳 山田真由美 城甲 実子 吉田 祐子 福田 由美 金子 智子

> 37期生 永田 仁美 福井 聡 欅田真須子

39期生 小笠原順子 香川 恵美 佐藤裕美子 濱野 千津

40期生 飛田 泰三 鬼頭 典子

41期生 小田切美穂 小林 千恵 山田 利恵 岡川 万姫 井上 章子

42期生 小川真由美

竿下 和美 平田 昭浩 阿野由希子

43期生 坪内久美子 松村 桃子 片山 朋香 浅田真有美

44期生 本吉 優子 永井 美香 ハーク裕子 岡田 桂子 六川 牧子

45期生 奥河佐知子 浦 史子 松井 淑恵 横谷 環 西川 香代 松岡 万希 平井 令奈 松田 洋介 才野友紀子

46期生 宮武 亜紀 香織 仲 西 聡美 三瀬由起子 権東 明子 梅本 貴子 風早 宏隆 藤井 麻実 問口 朱 若見 妙子 石原 祐介 塚本 知香 中川 優芽 清水由希子 池田由佳子

西村 彩 大垣加代子

47期生

陣門 華子 石田 知子 小山 董 小林明日香 澤村 梓 加瀬 真実 高木真稚恵 吉田 聖子 清水徹太郎 進元 一美 髙山 景子

48期生 二見 晴美 武田 直子 上敷領美絵 佐々井佑子 坪本佐智子 山本 絵理 浅井 咲乃 阪中 美幸 池松 郁 平山 幸子 奥田 聖子 中川 公志 リパモンティ依里 山守美由紀 山嵜 敦子 木村 克哉

49期生 大渕 雅子 永武 靖子 岡田 史絵 香叡 金 森下美登利 出井紗希子

50期生 石若 雅弥 細見 和世 三宮 郁子 佐々木智子 弓削 弥生

51期生

入谷 幸子 齋藤紗綾華 高野 良輔 西岡 仁美 本庄ちひろ 住本 紗恵 寺下 奈々 湯川 美佳 原田 安代 坂口 裕子

52期生 金田 仁美 杉田 美穂 宮﨑真理子 片山 英摩 端山 梨奈

53期生 岩井 理沙 白浜 聖子 新 亜妃子 古瀬まきを

54期生 今井 彩香 西村夕美香 辻井麻弥子 向井 悠 井上真由美

55期牛 和映 宋 加門祐香里 福田真梨奈 畑 缎 板東 靜

56期生 市川 未来 北端 祥人 靖子 森山 井上 拓 荒巻 幸絵 脇屋 有貴 亀井真佑子

57期生 井原寿美緒 金澤 麻衣 竹本 玲美 中村 太紀 中村 真弓 尹 紗梨 吉本 成美 助野 由佳 浅田麻友美 森田 奈奈

58期生 堀井亜紀子

59期生 澤田奈央子 西村 彰洋 平本 直規 井上 元気 川上 紗季 阪口 楓

60期生 原 由莉子 藤岡 真帆 小林 千佳 和田 悠花 足立 恵理

61期生 誉田 真弓 佐藤亜友美 志賀 俊亮 玉木 俊太 新 音馬 大村優希恵 藤川 有樹 中川 千絵

62期生 莗 池田 優美 遠藤 百華 矢野 河村 真央 絵梨 中田 真鍋 実優 長島 加奈 佐野 良太 里紗 髙原

以下の方は大阪支部会員ですが、現在ご住所が不明となっております。 ご住所またはお電話をご存知の方がいらっしゃいましたら、お手数ですが 表紙記載の事務局までご連絡いただければ有難く存じます。

3期 pf 谷口登美子 / 9期 vn 南村京子 / 41期 ob 岡川万姫 43期 fl 方山朋香 vo 浅田真有美 / 44期 pf 六川牧子 46期 vn 権東明子 cl 藤井麻実 perc 若見妙子 vo 池田由佳子 48期 pf 二見晴美

49期 hr 永武靖子 vo 岡田史絵 vo 森下美登利(院17) 51期 pf 入谷幸子 pf 齋藤紗綾華 / 57期 pf 井原寿美緒

真声会大阪支部会則

(京都市立芸術大学音楽学部同窓会)

第1章 総則

- 第1条 本支部は真声会大阪支部(以下、本支部という)と称する。
- 第2条 本支部は、大阪を中心とした地区における音楽 活動ならびに親睦を図ることを目的とする。
- 第3条 本支部は、前条の目的遂行のために、次の事業 を行う。
 - (1) 発表演奏会、研究会および演奏会の後援。
 - (2)情報の収集と提供。
 - (3) その他本支部が必要と認める事業。
- 第4条 本支部の事業年度および会計年度は、4月1日 より、翌年3月31日までとする。
- 第5条 会則の実施に必要な事項については、別に細則 を設ける。細則は、世話役会の議決を経て行う。 ただし、会費の改訂については、総会の承認を得 なければならない。
- 第6条 会則の改定は、総会において出席会員の3分の 2以上の同意を必要とする。

第2章 会員

- 第7条 本支部会員の構成は、次のとおりとする。
 - (1) 支部会員は、大阪に在住、在勤、あるいは活動の本拠をもつ真声会会員とする。
 - (2) 特別会員は、本支部の目的に賛同される京都 市立芸術大学音楽学部現旧教職員とする。
 - (3) 賛助会員は、本支部の目的に賛同される個人および団体とする。
- 第8条 本支部への入会、および退会は本支部へ届け出 る。
- 第9条 会員は、総会で定められた会費を納入するもの とする。

第3章 世話役および委員

- 第10条 本支部には、世話役と世話役のなかから選出される委員をおく。その構成は次のとおりとする。
 - (1) 世話役の構成人員は、相当数とする。
 - (2) 委員の構成は、支部長1名 副支部長1~2 名 事務局長1名 会計1名 広報若干名 庶 務若干名 監査2名
- 第11条 世話役および委員の任務は、次のとおりとする。
 - (1) 支部長は、本支部を代表する。また、業務を 総括し、会議を招集する。
 - (2) 副支部長は、支部長を補佐し、必要なときは、その業務を代行する。
 - (3) 事務局長は、本支部の業務を処理する。
 - (4) 会計は、本支部の会計業務を行う。
 - (5) 広報は、本支部に関する情報を収集し、提供
 - (6) 庶務は、世話役会が本支部の運営に必要な担 当部門を設けて、その業務を行う。

- (7) 監査は、本支部の会計業務および運営状況を 監査し、総会で報告する。また、必要があれば 世話役会で報告する。
- (8) 世話役は、委員とともに本支部の業務の遂行にあたる。
- 第12条 世話役および委員の選出と任期は、次のとおり とする。
 - (1)世話役は、会員の互選により選出し、総会の 承認を得る。
 - (2) 委員は、世話役のなかから選出し、総会の承認を得る。
 - (3) 世話役(含む委員)の任期は、2年とする。 ただし、再任は妨げない。

第4章 総会

- 第13条 総会は、原則として年1回定期に開催し、次の 議事を行う。なお、世話役会が必要と認めた場 合、臨時総会を開催する。
 - (1) 前年度事業報告、会計報告、監査報告。
 - (2) 世話役および委員の選出承認。(ただし、隔年)
 - (3) 新年度事業方針。
 - (4) その他必要事項。

第5章 世話役会および委員会

第14条 本支部の運営にあたり、世話役会および委員会 を開催する。

第6章 議決

第15条 議題の議決は、多数決とする。可否同数のとき は議長が決める。

第7章 会計

第16条 本支部の経費は、会費、真声会本部援助金、そ の他の収入をもってあてる。

細 則

- 第1条 本支部の会費は、次のとおりとする。
 - (1) 支部会員は、真声会本部会費のほかに、年額 2000円を納入する。ただし、夫婦会員は、二人 で2000円とする。
 - (2) 特別会員は、年額2000円とする。
 - (3) 賛助会員は、年額3000円とする。
- 第2条 会費は、当該年度内に納入する。
- 第3条 会費の滞納が1年以上におよぶ会員は、退会扱いとなる。

付 則

- 第1条 本支部会則は、1994年7月3日から実施する。
- 第2条 本支部会則の実施にあたり、真声会大阪支部規 約は廃止する。



♪オペラ[カルメン]

4月30日(月・祝)2回公演12:30.16:30/ルナ・ホール

*森池日佐子(18期声)、萩原寛明(37期声)ほか

管弦楽:アンサンブル・サビーナ、樋上眞生(51期pf)

*ビゼー:オペラ「カルメン」日本語上演

*前売り:一般4,500円(当日5,000円)

U-22券(22歳以下·大学生対象)3,000円

*問い合わせ:特定非営利活動法人(NPO)ヴォイス・アーツ voicearts.carmen@gmail.com / 080-6140-8583(朝山)

♪第148回 日本シューベルト協会演奏会

佐々木成子メモリアルコンサート

~ただ憧れに導かれ、なお憧れを追い求め…~

5月2日(水)19:00/兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール

- *河村さと子(16期声)、三井ツヤ子(16期声)、橘茂(24期声)、榎水 枝(25期声)、ほか
- *R,シュトラウス:セレナーデ、リスト:ローレライ、シューベルト:魔王、ベルク:夜、ほか
- *3,500円(全自由席)

*問い合わせ:株式会社ラプトサウンド

0797-84-5952/office@rapt-sound.com

*チケット: 芸文センター 0798-68-0255

♪古川知子コンサート

~ラフマニノフ~

5月18日(金)19:00/兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール

- *古川知子(30期pf)、客演·山岸孝教(31期vc)
- *ラフマニノフ:エレジー、東洋風舞曲、チェロ・ソナタ、ほか
- *3,000円(全自由席)
- *問い合わせ:090-4561-5231(古川)
- *チケット: 芸文センター 0798-68-0255

NSS Collaboration Concert 3rd

~オーボエ&オリジナルリボン・バッグ~

5月26日(土)14:00/旧グッゲンハイム邸

- *高名幾子(32期ob)、信多仁子(32期pf)
- *ショパン: ノクターン op.90-2、風笛、踊り明かそう、ほか
- *3,000円(ドリンク付き)要予約
- *問い合わせ:090-4038-1973(信多)/

yshinoda1616@ezweb.ne.jp

♪アフター・アワーズ・セッション

~兵士の物語~

5月27日(日)14:00/ピフレホール

- *右近恭子(25期pf)、日比浩一(29期vn)、松原央樹(29期cl)ほか
- *ストラヴィンスキー:「兵士の物語」。ほか
- *前売り:1,000円(当日1,500円)
- *問い合わせ:0797-34-3116/

afterhourssession@hotmail.com

♪大岡真紀子ピアノリサイタル

~詩情を湛えて~

5月30日(水)19:00/兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール

- *大岡真紀子(29期pf)
- *ショパン: 舟歌 作品60、セブラック: 日向で水浴びする女たち、ほか
- *****3.000円
- *問い合わせ:ドゥーピアノムジーク 072-831-2641
- *チケット: 芸文センター 0798-68-0255

♪初夏にうたう

~日本歌曲の夕べ~

6月7日(木)18:30/兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール

- *柴田千恵子(18期声)、山守美由紀(48期声)、ほか
- *宵待草、雨と少女、ほか
- *2,500円(全自由席)
- *問い合わせ:大阪アーティスト協会 06-6135-0503

♪アフター・アワーズ・セッション

~音楽クリティッククラブ奨励賞 受賞記念演奏会~

6月17日(日)18:00/島之内教会

- *右近恭子(25期pf)、日比浩一(29期vn)、日野俊介(29期vc)、松原央樹(29期cl)ほか
- *ヒンデミット: 小室内楽音楽 op.24-2、シューベルト: ノットゥルノ D897、ほか
- *一般3,000円、学生2,000円、ペア券5,000円
- *問い合わせ:0797-34-3116 / afterhourssession@hotmail.com

♪中村太紀ピアノリサイタル

~シューベルト没後190年に寄せて~

10月27日(土)15:00/ヤマハグランドピアノサロン大阪

- *中村太紀(57期pf)
- *シューベルト: 4つの即興曲 作品142(D935) 全曲、ほか
- *一般3,000円/会員2,500円
- *問い合わせ:06-6531-8180

この欄への情報の提供、エッセイ、留学記など、投稿をお待ちしています。 表紙記載の事務局か、メールは、klneurcpb@gmail.com へ。

新年度・会費をお納め下さい

大阪支部は、大阪を中心とした地区における音楽活動ならびに親睦を図ることを目的とし、会員の構成は、大阪に在住、在勤、あるいは活動の本拠をもつ真声会会員となっていますが、制約はありません。現に、大阪の様子が知りたいと、東京在住の会員もおられます。大阪支部の年会費は、2018年4月1日から2019年3月31日までの分として、2000円です。

夫婦会員は、お二人で2000円です(会費納入の際、 郵便の払込用紙の通信欄にその旨をお書き下さい)。

なお、学生・院生・今春の卒業生は今年度支部会費 が免除されます。入会の意思を事務局までお知らせ下 さい。